

2023 年度  
学校自己評価報告書

学校法人日本プリンティングアカデミー  
学校自己評価委員会

## ■ 2023 年度学校自己評価について

日本プリンティングアカデミーは、「印刷関連産業に的を定めた専門教育・研究機関」「次世代を担う経営・営業・技術者育成のための専門教育・研究機関」として 1978 年 4 月に開校された印刷関連企業の成長を支援する唯一の学校法人・専門学校です。印刷関連業界に支えられ、創立 43 年目。国内・海外を含めて、関連業界に約 1000 名以上の人財を排出し、約 700 名の卒業生が現役として活躍しています。

日本プリンティングアカデミーでは「企業で役立ち、企業発展の原動力となる実践的人財育成」を目指し、印刷情報産業の発展に貢献するために、印刷メディアの価値とデジタルメディアの有機的融合の検証の場として、人財育成と研究機関を両輪に社会に通じる経営・マーケティング・クリエイティブ・生産技術を総合的にバランス良く身に付け、実業革新と社会的価値向上に貢献できる人財育成を教育方針として運営しています。

平成 19 年度に学校教育法施行規則が改正となり、専修学校においても自己評価の実施および公開が義務化されたことをふまえ、日本プリンティングアカデミーも学校自己評価を実施・公開を行い、業界各所からのご意見をいただき PDCA の実施を行い、さらなる教育の質の向上に取り組んでいます。

### 1. 対象期間

2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日

#### ○ 委員会開催

第 1 回 2023 年 5 月 12 日（金）15:00～18:00

第 2 回 2023 年 9 月 15 日（金）15:00～18:00

第 3 回 2024 年 2 月 13 日（火）9:00～12:00

### 2. 実施方法

#### (1) 実施組織：学校自己評価委員会

委員長：花井 秀勝（理事長）      委員：曹 于鉉（学校長）

委員：石原 智子（事務局長）      委員：中村 竜（事務局）

#### (2) 評価基準

文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠。

(3) 評価方法

学生アンケート、教職員自己評価、各学科及び部門の自己評価を実施、自己評価委員会を開催し、学校自己評価に取り纏め。

**3. 評価の項目**

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献

**4. 評価項目に対する評価**

(1) 次の4段階で点数評価しました。

4：適切      3：ほぼ適切      2：やや不適切      1：不適切

(2) それぞれの評価項目のうち評価3以下のものについての状況と課題、対策について報告いたします。

## 1. 教育理念・目標

No	設問	評価点
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④・3・2・1
2	専門分野における職業教育の特色は明確か	④・3・2・1
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④・3・2・1
4	学校の理念・目的・育成人材像・職業教育の特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	4・③・2・1
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4・③・2・1

### 【2023年度の現状と今後の改善策】

4. 本校の教育理念は、ホームページや学校案内に掲載している。また、オープンキャンパスや学校説明会でも、入学希望者、保護者、業界関係者等へ理念や目的を説明しているが、さらなる周知・拡大を図る必要がある。現在、次年度に向けてホームページの全面改定が進行中であるが、理念や目標について、入学前から広く理解を深めてもらえるコンテンツにしていきたい。
  
5. 現在、印刷業界では多角的なスキルを持つ人材が求められている。従来の受注生産型のビジネスモデルから脱却し、プロモーション企画、デザイン制作、EC支援など、付加価値の高いサービスを提供できる人材が求められている。同時に、マーケティング戦略を実現するための統合的な施策を企画できる人材のニーズも高まっている。また、環境対策に取り組める人材も必要とされている。ESG経営（環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の3つの要素を重視した経営方針）やカーボンニュートラルへの取り組みが求められる中、これらの課題に対応できる人材が必要とされている。当校でも、学科やカリキュラムがこれらに適切に対応しているかを常に検討する必要がある。

## 2. 学校運営

No	設問	評価点
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④・3・2・1
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4・③・2・1
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④・3・2・1
4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	④・3・2・1
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④・3・2・1
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④・3・2・1
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4・③・2・1
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4・③・2・1

### 【2023年度の現状と今後の改善策】

2. 毎年、運営計画や事業計画は実施されているものの、常に最新の印刷技術や業界ニーズに即した実践的な教育が提供されているか、また、デジタル技術と従来の印刷技術を融合させた革新的なカリキュラムが展開されているかを検証し、計画と現場の教育が一致しているかを常に確認・改善する必要がある。さらに、環境に配慮した印刷技術や、持続可能な印刷業界の発展に貢献できる視点からも、新たな取り組みを考える必要がある。
  
7. WEBや学校案内では各講義の紹介が行われているが、これまで他の大学が公開しているようなシラバスは存在していなかった。今年度は新たにシラバスのフォーマットを作成した。WEBでの公開には至っていないものの、統一したフォーマットで記入を行った。次年度はこれを基に、さらに分かりやすく詳細に記入されたシラバスを作成する必要がある。少しずつではあるが、最終的にはシラバスをWEBで公開することを目指していく。

8. 職員間の情報共有は Google カレンダーを活用し、データ共有は NAS の導入により業務の効率化が進んでいる。しかし、成績管理、在校生の出欠管理、卒業生の管理はまだシステム化されていない。現在、エクセルを用いてこれらを管理しており、数年にわたって見直しと修正を続けている段階である。今後は、各システムが連携する全体的なシステム図を構築し、システム化の基盤を整えていく必要がある。数年かかる課題ではあるが、着実に進めていく必要がある。

### 3 . 教育活動

No	設問	評価点
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1
12	業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための取り組みが行われているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1
14	教職員の指導力育成や能力開発など資質向上を目指した研修等が行われているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1

### 【2023 年度の現状と今後の改善策】

3. カリキュラムは確かに体系的に編成されているが、さらなる改善が求められる。現在、2024 年度に向けて新たな授業科目の一部変更を予定しており、これによりプリント・コンテンツ学科（1 年制）とメディア・コンテンツ学科（2 年制）との共通性を持つ科目や、専門性の高い科目がバランスよく体系化される予定である。この結果、理論と実践を考慮した科目設計が実現し、さらに充実したカリキュラムの体系的な編成を目指していく。
4. より実践的なカリキュラムを実現するためには、企業見学や OB 講義、インターンシップなどの要素を充実させることが必要である。また、今後はキャリア形成のプランを作成する必要がある。具体的には、当校独自の学習ノートを活用し、学習計画の立案や学習の進捗状況を可視化することが求められる。学生が自分で考えながらキャリア形成プランを構築できるよう、きめ細やかなサポートを提供することが重要である。
8. 職業教育においては、常に外部関係者と連携しながら質の向上を目指している。今年度はシラバスのフォーマット作りや授業のコンテンツの整備を優先していく。基本となるシラバスが完成すれば、的確に外部関係者からのアドバイスやご意見を伺うことが可能になる。また、シラバスが完成すれば、講師陣や保護者などの関係者からの意見・アドバイスを収集する機会を設けていきたいと考えている。
12. 企業や関係施設、業界団体との連携を通じて、現場で活躍している実践的な講師の確保に努めているが、印刷関連の最新分野である WEB 関係、デジタルマーケティング、データサイエンスなどの教員確保は依然として難しい状況である。今年度は WEB 関係とデジタルマーケティングの講義を専任講師でカバーしたが、データサイエンスなど他の分野はまだ十分にカバーできていない。将来的には各専門分野の教員を確保することが重要である。
14. ウェビナーの参加や専門書籍の購入等積極的に実施しているが、長期的かつ計画的に各教員がスキルアッププランを構築する必要がある。また広報担当者の印刷技術知識、業界の知識の向上も校内研修で積極的に行っていきたい。



#### 4. 学修成果

No	設問	評価点
1	就職率の向上が図られているか	④・3・2・1
2	資格取得率の向上が図られているか	4・③・2・1
3	退学率の低減が図られているか	④・3・2・1
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④・3・2・1
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④・3・2・1

#### 【2023 年度の現状と今後の改善策】

2. 専任講師による印刷技術の資格を取り扱う業界団体での委員就任など、指導体制は確保しているが、学生のキャリア形成プランに合わせて資格取得を目指しているのかを常に確認する必要がある。最近では学生が複数の資格を受験予定としている場合が多く、無理がないかどうか、優先順位を確認していく必要がある。また、学校側でも推薦する資格については、業界の情勢やニーズに合っているのかを定期的に確認する必要がある。

## 5. 学生支援

No	設問	評価点
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④・3・2・1
2	学生相談に関する体制は整備されているか	④・3・2・1
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④・3・2・1
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④・3・2・1
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④・3・2・1
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4・③・2・1
7	保護者と適切に連携しているか	④・3・2・1
8	卒業生への支援体制はあるか	④・3・2・1
9	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4・③・2・1

### 【2023 年度の現状と今後の改善策】

6. 定期的に担当教員が学生とのヒアリングを行い、問題があれば支援をしている。また、今後は学習環境を提供するために、放課後のパソコンルーム（DTP ルーム）を自習用に開放し、Wi-Fi、デジタル印刷機、大型プリンター、カッティングマシンなどを許可があれば自由に使用できるようにしていきたい。
9. 関係企業・施設や業界団体からの支援もあり、業界標準の設備を設置しているが、常に最新の充実した教育環境を目指して設備確保を引き続き行う。また、今年度から技能検定試験の検定会場にも選定され、機器のメンテナンスや保守点検など、日頃からの管理を徹底して行う必要がある。

## 6. 教育環境

No	設問	評価点
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	④・3・2・1
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④・3・2・1
3	防災に対する体制は整備されているか	4・③・2・1

### 【2023 年度の現状と今後の改善策】

3. 防災に関して、訓練や備蓄の確認は行っているが、近年の地震や大雨による災害は甚大な被害をもたらし、大規模化している。現状では、最低限の避難方法や消火器、AED の使い方に焦点を当てているが、今後は防火訓練や地震対策訓練を区分けし、それぞれに対応する訓練を強化する必要がある。また、防災ポーチなど外出時の防災対策にも徹底していきたい。

## 7. 学生受入れ募集

No	設問	評価点
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1
3	学納金は妥当なものとなっているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1

### 【2023 年度の現状と今後の改善策】

1. コロナの影響も薄れ、少しずつ学生募集は正常な状態に戻りつつあるが、外国人留学生の減少や関東の高校訪問も少ない状況である。これは当校だけの問題ではないが、非常に厳しい状況である。引き続き、オンラインによるオープンキャンパス、学校説明会、動画配信などの IT を活用しながら募集活動を行う必要がある。昨年度は説明動画は2本であったが、今年度は14本まで増やした。引き続き動画による学校紹介を増やしていきたい。
2. 学校案内やウェブサイトでは、進路実績や資格取得状況を正確に公開し、SNS でも日々の学習活動や行事の様子を積極的に発信している。さらに、JPA 後援会では学校での学びが実社会でどのように活かされているかも紹介している。しかし、卒業生による講演はコロナの影響で減少したままであり、今後はその回数を再び増やしていく必要がある。

## 8 . 財務

No	設問	評価点
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1
3	財務について会計監査が適正に行われているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1
4	財務情報公開の体制整備はできているか	④ ・ 3 ・ 2 ・ 1

### 【2023 年度の現状と今後の改善策】

1. 毎年の課題ではあるが、学生数の減少により収益減が財務基盤の不安要素となっている。引き続き人件費の改善や経費節減に努めるとともに、戦略的な年間募集計画を作成し、実行していきたい。

## 9. 法令等の遵守

No	設問	評価点
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④・3・2・1
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④・3・2・1
3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4・③・2・1
4	自己評価結果を公開しているか	④・3・2・1

### 【2023 年度の現状と今後の改善策】

- 自己評価の結果を受けて、具体的な目標を設定し、行動計画を策定する必要がある。  
また、改善に向けては問題点の特定、改善すべきポイントの明確化、効果測定などを意識し、ライフサイクル全体を見据えた取り組みを行いたい。

## 10 . 社会貢献・地域貢献

No	設問	評価点
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 ・ ③ ・ 2 ・ 1

### 【2023 年度の現状と今後の改善策】

1. 学校内で社会貢献に関する意識啓発キャンペーンを実施し、教職員や学生に対して社会貢献の重要性を伝える必要がある。具体的な事例や成功ストーリーを共有することで、モチベーションを高めることが求められる。
2. 学生や教員のリソースが限られている現状はあるものの、推奨活動は行っている。例えば、文京区での事業として「共同印刷グループロード・サポートチーム」が実施している吹上坂の清掃美化活動がある。このボランティア活動には、学生や教員も参加できる可能性がある。このようないくつかの案件について、今後さらに調査・検討していく必要がある。
3. 以前は区や印刷組合と連携して地域貢献活動を行っていたが、現在では様々な要因から積極的な実施が難しくなっている。今後は SNS を活用したニーズ調査を行い、オンラインでの講座を通して地域の方々に参加していただくことや、DTP 検定や色彩検定など資格取得を支援するセミナーを実施していくことが現実的である。少しずつではあるが、これらの活動を進めていきたいと考えている。